

ほのほのだよ

～ 親子で楽しむ 絵本の世界 ～

今月は絵本作家、中川李枝子さんの本を紹介します。中川さんは保育士として働きながら執筆活動を始め、作家活動だけでなく皆さんもよく知っている「げんこつ山のたぬきさん」やとなりのトトロのテーマ曲「さんぽ」の作詞もされています。柔らかく可愛らしい挿絵は実妹の大村百合子さんによるものだそうです。老衰の為10月にご逝去されましたが、とても素敵な作品をたくさん残して下さいました。園でも読み、子供達にも素敵な作品を伝えていきたいです。

「ぐりとぐら」 (2～3歳クラス向け)

出版社：福音館書店

作：中川 李絵子 絵：大村 百合子

野ねずみの双子のぐりとぐら。二人はお料理する事、食べる事が大好き。ある日見つけた大きな大きな卵を使って、カステラを作る事にしました。

カステラの焼けるいい匂いにつられ森じゅうの動物たちが集まって…

大きなおいしそうなおカステラに憧れて作ってみたいな～と思った人もきっといるはず。

ぐりとぐらシリーズの第一作となるお話です。



「いやいやえん」 (幼児クラス向け)

出版社：福音館書店

文：中川 李絵子 絵：大村 百合子

この本は4・5歳児の「素話」の時間に読む事が多いお話です。全部で7つの短編がありますが、どのお話も4歳のしげるが巻き起こすおかしくてハラハラする出来事がたくさんです。

いたずらっ子のしげるですが、素直でこどもらしい一面もたくさん。保育士をされていた中川さんならではの生き生きとしたこどもの描写も魅力的です。

